

# 第1回三隅町の自然と生活文化の 写真コンクール作品募集 締切り迫る!!

**題 材** 三隅町の四季を彩る祭り、観光施設、文化財、自然、働く、食べる、遊ぶなど。  
**応募資格** 町内外を問いません。  
**作 品** 自作、未発表のもの。四つ切りまたはワイド四つ切りの単写真。  
**応 募 票** 次の項目を記載して、作品の裏に貼ってください。

## 三隅町の自然と生活文化の写真コンクール応募票

タイトル、撮影場所、撮影年月日、作品解説、住所、氏名（フリガナ）、年齢、職業、電話番号、所属写真グループ名（児童・生徒は学校名と学年）

**賞** 最優秀賞「町長賞」：1点 賞状と賞金  
 優秀賞「観光協会賞」：2点 賞状と賞金  
 佳作：5点 入選：10点 賞状と記念品

**締 切 り** 2月末日（必着）  
**展 示 会** 4月21日から5月27日までの間、香月美術館研修室において展示公開します。

**応募・問い合わせ先** 〒759-3803 三隅町豊原 三隅町商工会館内  
 三隅町観光協会「写真コンクール係」 ☎0837-43-0033  
 ※応募作品の著作権は、三隅町観光協会に帰属します。また、被写体についての肖像権等の問題が生じた場合、その責任は応募者でもっていただきます。（応募作品は、原則返却しません）



## 平成13年度地域文化活動支援事業の募集

この支援事業は、個性豊かな地域文化の振興と地域の活性化を図るため、民間の地域文化活動に対して助成するものです。

**対象者** 長門市、大津郡内を主たる活動の本拠とする民間団体及び個人。

**対象事業** 地域文化の振興、文化交流の促進、人材育成、文化意識の高揚等を目的とし、事業内容が一市町内を対象とするだけでなく、広域的な事業

**助成の決定及び金額** 3月中旬までに、助成対象経費の1/2以内で決定（上限30万円）  
**問い合わせ** ルネッサながと

**対象事業の期間** 平成13年4月から平成14年3月未まで

役場総務課企画係  
 ☎43-0221  
 ☎26-6011

## わがまちの文化財 (9)

### 三隅に於ける明治初期の学校

政府は明治四年（一八七二）文部省を設置し、翌五年八月『……自今（今より）以後一般の人民（華士族農工商及婦女子）必ず邑（村）に不学の戸なく家に不学の人なからしめん事を期す……』とする国民皆学の方針を旨とした学制を發布した。全国を八大学区（山口県は第五大区に編入）に分け大学区の下に中学区、中学区の下に小学区を設け各学区に大学、中学、小学を開設することとした。

山口県はこれを受けて明治五年十月中小学章程を定め四中学区（翌六年六中学区に改正され前大津は第五中学区に編入）を設け、各地域に学区取締を任命し小学校の開設を急いだ。校舎、教科書、教員の不足など、学制に基づく一小学区一校主義にはほど遠く、県下の小学教育の多くは在来の私塾に依存していた。三隅でも同じで、当初は明治以前から存続していた七つの私塾が小学校の代用として重要な役割を果たしていた。

三隅で最初の小学校は明治六年一月十三日に三隅中村の小学として開校された三隅市小学で、三隅八幡宮下の池の南側にあったが、三隅上村全域も三隅市小学区であった。宗頭の山本七右衛門は児童の遠距離通学を憂慮し、私財を投じて無償私学の設立を願ひ出て同年七月三日前大津第五私小学（後の宗頭小学校）が開校された。ついで、明治七年六月八日三隅下村の小学として豊原神社境内西側二条窪川沿いに豊原小学が開設された。明治八年になると、学校から遠距離通学の地域には児童の通学の困難を考慮し分校が置かれた。宗頭小学所属には滝坂村分校が、三隅市小学所属には中小野村分校と辻並村分校が、豊原小学所属には野波瀬浦分校・小島村分校・沢江浦（亀田）分校がそれぞれ置かれた。こうして小学教育体制は整ったが、明治十六年の大津郡内就学率の調査を見ると、三隅上村三四・三、三隅中村四三・六、三隅下村五九・八%となっており、就学率は五十%前後で、住民の教育への関心はまだ低かった。



三隅市小学跡



豊原小学跡